

佐藤信秋 参議院議員の講演要旨

日時 令和5年2月20日（月）11：30～12：00

場所 グランドアーク半蔵門 3階 華の間（総会会場）

配布資料

1. 命と国土を守ろう！ 強靱化の灯を消すな！ 成長と適正な分配！（1p）
2. この15年で変えてきたこと（令和4年12月）（1p）

講演要旨

（冒頭は、コロナワクチン接種料金のお話ゆえ省略）（国交省の財務省との折衝も既往のお話ゆえ省略）

働き方改革では、真っ当な労働時間で賃金をもらえるように上げることが必要である。大企業だから加点措置で3%上げろではなく、上げられる環境を整備して、手の届く範囲で上げられるようにすべき。

設計技術者単価を3年で15%上げろと言っている。物価が上昇しており、実質賃金が下がっており、ベースを上げないと、建設産業に入って来なくなる。今回の+5.4%の大幅UPはよいことだ。

働き方改革について、財務省に直接談判しても、国交省から要求がないからと断られる。そんなことしていると大学から学生が来なくなる。ぜひ、コンサルタントの経営者からも文句を言ってきてほしい。

新3Kでは、技術者が大事であり、コンサルタント関係だと年収1千万円を超えて欲しい。主任技術者74,900円は高いかという安いと思う。1日10万円でも足りない。弁護士は1時間当たり25,000円も貰っている。処遇改善しないと人が入って来ない。見通し、希望を持たせることが必要だ。例えば、大変意義のある仕事だとか、先々世の中を変えていこうとか、日本列島改造とか。

コンサルティングエンジニア連盟のフィールドが広がっていると思う。「インフラ整備をやっていこう。強靱化を進める」など。

量の確保では、「コンサルティングエンジニアの仕事がどうなる。国土強靱化によって社会資本整備を進める。公共事業を2割増やす。そのためには当初予算を増やすか、補正予算にも入れる」ことだ。

国土強靱化は、いつ地震が発生するのかわからないから、続ける必要がある。